

当初設計

2024年度

南松永松永幹線・6-1

福山市 松永 町 六丁目 地内

道路改良工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計		第 1 回変更
	工事延長	L=60.0m	
	道路幅員	W=3.0m	
	縁石工	L=125m	
	上層路盤工	A=213m ²	
	表層工	A=213m ²	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、道路改良工事（南松永松永幹線・6-1）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和6年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第5節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第2章 材料

第1節 コンクリートの配合指定

- ・鉄筋コンクリート（呼び強度21及び24）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

第3章 施工条件

第1節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第2節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第3節 購入土（搬入）（建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土）

- ・本工事では、土砂購入を見込んでいます。
- ・当該工事に使用する購入土は、建設発生土処分先一覧表に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土（改良土を含む。）を使用するものとする。積算にあたっては、運搬費と処理土購入費（工場渡し）の合計が最も経済的になるものを見込んでいます。したがって、正当な理由がある場合を除き購入土に要する費用（単価）は変更しない。
- ・上記により使用することとしている処理土について、何らかの事情によりその使用が困難である場合は、設計図書の内容について監督員と協議すること。
- ・使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。

第4節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- ・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。
- ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
- ・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
- ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基き許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいます。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

第4章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

第2節 現場標示板等について

- ・「第20 回世界パラ会議福山大会2025」の周知と機運醸成を図るため、現場標示板等へ大会ロゴの標示について、ご協力をお願いします。
- ・使用するロゴは「第20 回世界パラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に沿ったものとする。
- ・「第20 回世界パラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要とする。
- ・使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意すること。
- ・大会ロゴの標示については任意事項とし、標示に必要な経費は工事費に計上しない。
- ・ロゴ標示期限は2026年（令和8 年）3月31日とする。
- （デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へお問い合わせください。）

第3節 福山市週休2日モデル工事について

本工事は、持続可能な建設産業に向けた労働環境の改善を目的とする週休2日モデル工事の対象工事です。詳細については、別紙（土木関連工事における福山市週休2日モデル工事の実施について）によるものとします。

土木関連工事における福山市週休2日モデル工事の実施について

- 1 本工事は、契約締結後において受注者の希望により行う週休2日モデル工事である。なお、このモデル工事の取組を希望しない受注者は、4～14に規定する義務を負わない。
- 2 このモデル工事に係る用語の定義は、次の各号に定めるものとする。
 - (1) 月単位の週休2日 対象期間内の全ての月毎に現場閉所（現場休息）日数の割合（以下「現場閉所率」という。）が、4週8休（28分の8の日数をいう。）以上の水準の状態をいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の現場閉所（現場休息）では4週8休に満たない月は、当該月の土曜日・日曜日の合計日数以上に現場閉所（現場休息）を行っている場合に、4週8休以上を達成しているものとみなす。
 - (2) 通期の週休2日 対象期間内において現場閉所率が4週8休以上の水準の状態をいう。
 - (3) 現場閉所 巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、1日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。
 - (4) 現場休息 分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。
 - (5) 対象期間 工事着手日（準備期間（契約上の工事の始期から本体工事又は仮設工事の着手までの期間をいう。）を除く。）から工事の完成日（後片付け期間を除く。）までの期間をいう。ただし、次の期間は対象期間から除くものとする。
 - ア 年末年始6日間及び夏季休暇3日間
 - イ 工場製作のみが行われている期間
 - ウ 災害時の緊急対応その他受注者の責めによらず、休工又は現場作業を余儀なくされた期間
- 3 受注者は、契約締結後速やかに週休2日モデル工事の実施希望の有無等を記載した所定の確認票を建設政策課契約担当に提出するものとする。
- 4 受注者は、週休2日モデル工事を実施する場合は、契約締結後速やかに工事打合せ簿により監督員へ申出を行い、工事着手までに所定の現場閉所（現場休息）計画表兼実績表（以下「計画表」という。）を提出するものとする。
- 5 受注者は、天候を理由として現場閉所（現場休息）する場合のほか、次に掲げる場合は、監督員との協議により工事着手後であっても週休日を変更することができるものとする。
 - (1) 品質管理、安全管理等のため作業を継続して行う必要がある場合
 - (2) その他工程の都合上やむを得ない場合
- 6 受注者は、当該工事が週休2日モデル工事である旨を、施設管理者の承諾を得て所定の様式により仮囲い等に明示しなければならない。
- 7 受注者は、計画表に現場閉所（現場休息）状況を記入し、現場閉所（現場休息）状況が確認できる書類（工事日誌、出勤簿等をいう。）とともに毎月7日まで及び工事完成後に、工事打合せ簿により監督員に提出し、確認を受けるものとする。
- 8 週休2日を理由とする工期延長については、認めないものとする。
- 9 受注者は、週休2日モデル工事を実施できなくなった場合は、速やかにその旨及び理由を工事打合せ簿により監督員に報告するものとする。

10 週休2日モデル工事において、4週8休以上の現場閉所（現場休息）を達成した場合は、変更契約において現場閉所（現場休息）の実績に応じた経費の補正を行うものとする。

11 土木工事に係る経費の補正にあつては、次の各号に掲げる現場閉所（現場休息）の実績に応じ、当該各号に定める補正係数、別表に定める市場単価の補正係数及び土木工事標準単価の補正係数を用いるものとする。ただし、港湾工事（港湾土木請負工事積算基準を適用した工事）については、4週8休以上の現場閉所（現場休息）を月単位で達成した場合に限り、経費の補正を行うものとする。

(1) 月単位の週休2日モデル工事（4週8休以上）

（現場閉所率28.5%（8日／28日）以上）

ア 労務費	1.04
イ 機械経費（賃料）	1.02
ウ 共通仮設費	1.03（港湾工事を除く。）
エ 共通仮設費	1.02（港湾工事に限る。）
オ 現場管理費	1.05（港湾工事を除く。）
カ 現場管理費	1.03（港湾工事に限る。）

(2) 通期の週休2日モデル工事（4週8休以上）

（現場閉所率28.5%（8日／28日）以上）

ア 労務費	1.02
イ 機械経費（賃料）	1.02
ウ 共通仮設費	1.02
エ 現場管理費	1.03

12 前項第1号ア及び第2号アに規定する労務費に係る補正対象は、公共工事設計労務単価、電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工及び港湾請負工事積算基準に係る標準賃金（船舶製作工を除く。）とする。

13 農林工事に係る経費の補正にあつては、次の各号に掲げる現場閉所（現場休息）の実績に応じ、当該各号に定める補正係数、別表に定める市場単価及び標準単価の補正係数を用いるものとする。

(1) 土地改良工事積算基準（土木工事）及び（施設機械）適用工事

通期の週休2日モデル工事（4週8休以上）

（現場閉所率28.5%（8日／28日）以上）

ア 労務費	1.02
イ 機械経費（賃料）	1.02
ウ 共通仮設費	1.02
エ 現場管理費	1.05

(2) 治山林道必携適用工事

通期の週休2日モデル工事（4週8休以上）

（現場閉所率28.5%（8日／28日）以上）

ア 労務費	1.05
イ 機械経費（賃料）	1.04
ウ 共通仮設費	1.04
エ 現場管理費	1.06

14 前項第1号ア及び第2号アに規定する労務費に係る補正対象は、公共工事設計労務単価、

電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工及び港湾請負工事積算基準に係る標準賃金（船舶製作工を除く。）とする。

- 15 4週8休以上の現場閉所（現場休息）を達成した場合は、工事成績評定表の「工程管理」及び「創意工夫」において評価するものとする。

なお、週休2日を達成できなかった場合であっても、工事成績評定は減点しない。

- 16 計画表その他の提出資料に虚偽の記載等を行った場合は、指名除外措置の対象となる場合がある。

別表

土木工事市場単価の補正係数（港湾工事を除く。）

名称	区分	補正係数	
		通期 4週8休以上	月単位 4週8休以上
鉄筋工		1.02	1.04
ガス圧接工		1.02	1.03
インターロッキングブロック工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.04
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00	1.01
	撤去	1.02	1.04
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00	1.01
	撤去	1.02	1.04
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02	1.04
	撤去	1.02	1.04
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01	1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01	1.02
道路標識設置工	設置	1.00	1.01
	撤去・移設	1.02	1.03
道路付属物設置工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.04
法面工		1.01	1.02
吹付砕工		1.01	1.03
鉄筋挿入工（ロックボルト工）		1.02	1.03
道路植栽工	植樹	1.02	1.04
	剪定	1.02	1.04
公園植栽工		1.02	1.04
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01	1.02
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02	1.04
橋面防水工		1.01	1.01
薄層カラー舗装工		1.00	1.01
グルーピング工		1.00	1.01
軟弱地盤処理工		1.01	1.02
コンクリート表面処理工 （ウォータージェット工）		1.01	1.01
硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02
リブ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02
砂基礎工	人力施工	1.02	1.04
	機械施工	1.02	1.04
碎石基礎工	人力施工	1.02	1.04
	機械施工	1.02	1.04
組立マンホール設置工		1.02	1.03
小型マンホール工		1.00	1.01
取付管及びます設置工	ます設置工	1.00	1.01
	取付管布設及び支管取付工	1.01	1.02

港湾工事市場単価の補正係数

名称	補正係数
	月単位 4週8休以上
底面工	1.03
マット工（アスファルトマット設置・ゴム系マット設置）	1.00
支保工	1.04
足場工	1.02
鉄筋工	1.04
吊鉄筋工	1.04
型枠工	1.03
コンクリート打設工（ポンプ車打設）	1.04
コンクリート打設工（ポンプ車打設以外）	1.04
止水板工	1.04
上蓋工	1.04
伸縮目地工	1.02
係船柱取付	1.04
防舷材取付	1.04
車止・縁金物取付	1.04
係船柱撤去	1.04
防舷材撤去	1.04
車止撤去	1.04
電気防食取付	1.04
防砂目地板取付工（陸上施工）	1.04
防砂目地板取付工（水中施工）	1.03
吸出し防止工（陸上施工・海上施工）	1.03
港湾構造物塗装工（係船柱・車止・縁金物）	1.03
ペトロラタム被覆	1.04
現場鋼材溶接・切断工（陸上施工・海上施工）	1.04
現場鋼材溶接・切断工（水中施工）	1.04
かき落とし工	1.04
汚濁防止膜設置・撤去・移設	1.03
汚濁防止枠設置・撤去	1.02
灯浮標設置・撤去	1.03
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船あり・水中目視点検）	1.01
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船なし）	1.04
異形ブロック製作型枠工	1.04
異形ブロック製作コンクリート打設工	1.04
異形ブロック製作給熱養生	1.03

農林工事（土地改良工事積算基準適用工事）市場単価の補正係数

名称	区分	補正係数
		通期 4週8休以上
鉄筋工（太径鉄筋を含む）		1.02
鉄筋工（ガス圧接）		1.02
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00
	撤去	1.02
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02
	撤去	1.02
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00
	撤去	1.02
道路標識設置工	設置	1.00
	撤去・移設	1.02
道路付属物設置工	設置	1.01
	撤去	1.02
法面工		1.01
吹付砕工		1.01
軟弱地盤処理工		1.01
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02
橋面防水工		1.01

農林工事（治山林道必携適用工事）市場単価の補正係数

名称	区分	補正係数
		通期 4週8休以上
鉄筋工（太径鉄筋を含む）		1.05
鉄筋工（ガス圧接）		1.04
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.01
	撤去	1.05
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.04
	撤去	1.05
防護柵設置工（落石防護柵）		1.02
防護柵設置工（落石防止網）		1.03
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.01
	撤去	1.05
道路標識設置工	設置	1.01
	撤去・移設	1.04
道路付属物設置工	設置	1.02
	撤去	1.05
法面工		1.02
吹付砕工		1.03
軟弱地盤処理工		1.02
鉄筋挿入工（ロックボルト）		1.03

土木工事標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数	
		通期 4 週 8 休以上	月単位 4 週 8 休以上
区画線工		1.02	1.04
高視認性区画線工		1.02	1.04
橋梁塗装工		1.01	1.03
構造物とりこわし工	機械	1.02	1.03
	人力	1.02	1.04
排水構造物工		1.02	1.04

農林工事（土地改良工事積算基準適用工事）標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数
		通期 4 週 8 休以上
区画線工		1.02
排水構造物工		1.02
コンクリートブロック積工		1.02
構造物とりこわし工	機械	1.02
	人力	1.02
鋼橋塗装工		1.01

農林工事（治山林道必携適用工事）標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数
		通期 4 週 8 休以上
区画線工		1.05
排水構造物工		1.05
コンクリートブロック積工		1.05
構造物とりこわし工	機械	1.04
	人力	1.05

① 土木工事及び農林工事

ご協力をお願いします	
週休2日モデル工事	
〇〇〇〇〇を なおしています	
〇〇年〇〇月まで	
時間帯〇:〇〇~〇:〇〇	
〇〇〇〇工事	
発注者	福山市 〇〇〇〇課
	電話 000-000-0000
施工者	〇〇〇〇建設株式会社
	電話 000-000-0000

② 建築工事

**週休2日
モデル工事**

(A3サイズ以上)

③ 共通

週休2日モデル工事
この工事は、建設産業の労働環境を改善するため、週休2日の確保に取り組む工事です。
発注者：福山市〇〇〇〇〇〇課
受注者：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

(A3サイズ以上)

掲示内容

土木工事・農林工事等については①及び③、建築工事については②及び③を基本とする。

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-07. 02. 01(0)	《 凡 例 》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	04 道路改良工事 02 市街地(DID補正) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0. 04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
道路改良					Y1E01 レベル1
道路土工	1	式			Y1E0101 レベル2
路体盛土工	1	式			Y1E010103 レベル3
路体(築堤)盛土 【施工幅員】	1	式			Y1E01010301 レベル4
路体(築堤)盛土 施工幅員2.5m未満		m3			SPK24040004 00
	70	m3			単第0 -0001 表
路体(築堤)盛土 施工幅員2.5m以上4.0m未満					SPK24040004 00
	40	m3			単第0 -0002 表
路体(築堤)盛土 施工幅員4.0m以上 施工数量20,000m3未満 障害無し					SPK24040004 00
	290	m3			単第0 -0003 表
土材料					Y1E01010307 レベル4
		m3			

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
購入土 改良土 ほぐし 運搬費込	530	m3			W0001
法面整形工	1	式			Y1E010107 レベル3
法面整形(盛土部) 【法面締固めの有無, 現場制約の有無】		m2			Y1E01010702 レベル4
法面整形 盛土部 法面締固め有り 現場制約無し レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土	70	m2			SPK24040025 00 単第0 -0004 表
防草コンクリート	1	式			Y1E010109 レベル3
張りコンクリート 【Co規格, Co夜間割増の有無】		m2			Y1E01010901 レベル4
コンクリート打設工 防草コンクリート Co厚さ70mm 18-8-20BB	112	m2			S1040011 00 単第0 -0005 表
構造物撤去工	1	式			Y1E0112 レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y1E011206 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版破碎 【舗装版種別, 舗装版厚】		m2			Y1E01120603 レベル4
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	90	m2			SPK24040305 00 単第0 -0007 表
運搬処理工					Y1E011216 レベル3
殻運搬 【殻種別】	1	式			Y1E01121601 レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離10.5km以下(6.0km超)	3	m3			SPK24040151 00 単第0 -0008 表
殻処分 【殻種別】		m3			Y1E01121602 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
アスファルト殻受入費 再生工場搬入	6	t			W0001
舗装	1	式			Y1E02 レベル1

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装工					Y1E0204 レベル2
	1	式			
アスファルト舗装工					Y1E020404 レベル3
	1	式			
上層路盤(歩道部) 【路盤材種類, 路盤材規格, 仕上り厚】					Y1E02040404 レベル4
		m2			
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RM-30					SPK24040235 00
	213	m2			単第0 -0009 表
表層(歩道部) 【材料種類, 材料規格, 舗装厚, 平均幅員】					Y1E02040410 レベル4
		m2			
表層(歩道部) 平均幅員1.4m以上 1層当り平均仕上厚30mm					SPK24040244 00
	213	m2			単第0 -0010 表
排水構造物工					Y1E0205 レベル2
	1	式			
側溝工					Y1E020503 レベル3
	1	式			
プレキャストU型側溝 【U型側溝規格】					Y1E02050311 レベル4
		m			

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
U型側溝 落ちふた式U形側溝(JIS_A_5372)3種 300A[300×300×2000]	2.0	m			SDT00013 00 単第0 -0011 表
側溝蓋 【蓋版の規格】		枚			Y1E02050314レベル4
蓋版 落ちふた式U形側溝(JIS_A_5372)3種ふた 300[412×95×500]	3	枚			SDT00017 00 単第0 -0012 表
グレーチング蓋 細目 T-2	1	枚			W0001
管渠工	1	式			Y1E020504 レベル3
暗渠排水管 【作業区分, 管種別, 管径】		m			Y1E02050403レベル4
暗渠排水管 据付 直管 50～150mm 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径150mm	1.6	m			SPK24040092 00 単第0 -0013 表
縁石工	1	式			Y1E0206 レベル2
縁石工	1	式			Y1E020603 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
歩車道境界ブロック 【ブロック規格】		m			Y1E02060301 レベル4
歩車道境界ブロック B種(180/205×250×600) 片斜片面R 設置 RC-40	124	m			SPK24040287 00 単第0 -0014 表
歩車道境界ブロック 端部B種(H250用 L600) 片斜両面R 設置 RC-40	1	m			SPK24040287 00 単第0 -0015 表
道路付属施設工	1	式			Y1E0212 レベル2
道路付属物工	1	式			Y1E021202 レベル3
車止め 【車線分離標規格, 施工区分, 施工規模】		本			Y1E02120204 レベル4
車止め設置 700×650 φ60.5 手間代込	1	箇所			W0001
直接工事費 #0020計=支給品等(材料), 無償貸付					
安全費					Z0009

本工事費 内訳表

頁0 -0008

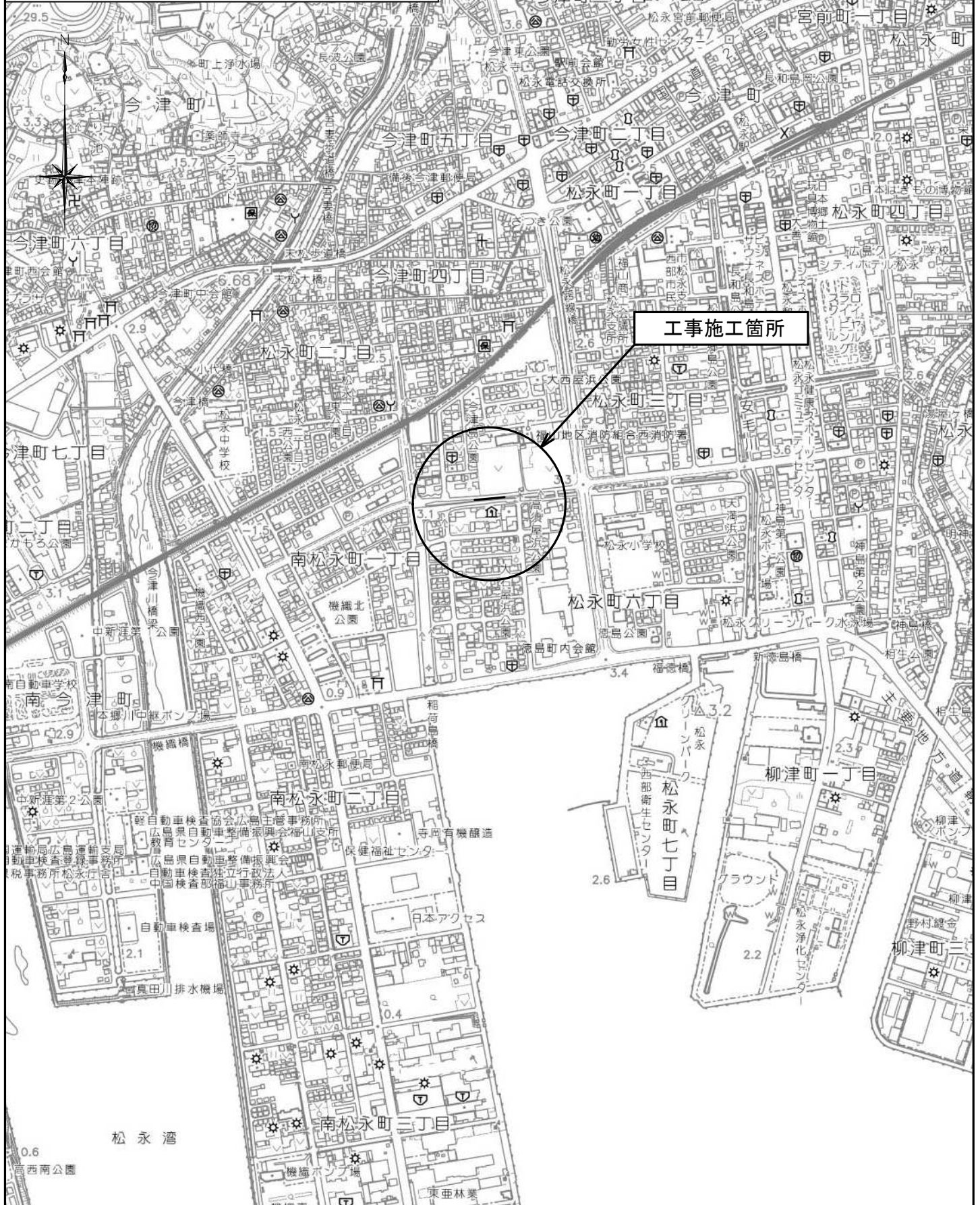
費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
安全費					YZZ09 レベル2
	1	式			
安全費					YZZ09001 レベル3
	1	式			
交通誘導員					YZZ09001004 レベル4
		人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	10	人			
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					
＊ ＊ 共通仮設費計 ＊ ＊					
＊ ＊ 純工事費 ＊ ＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					

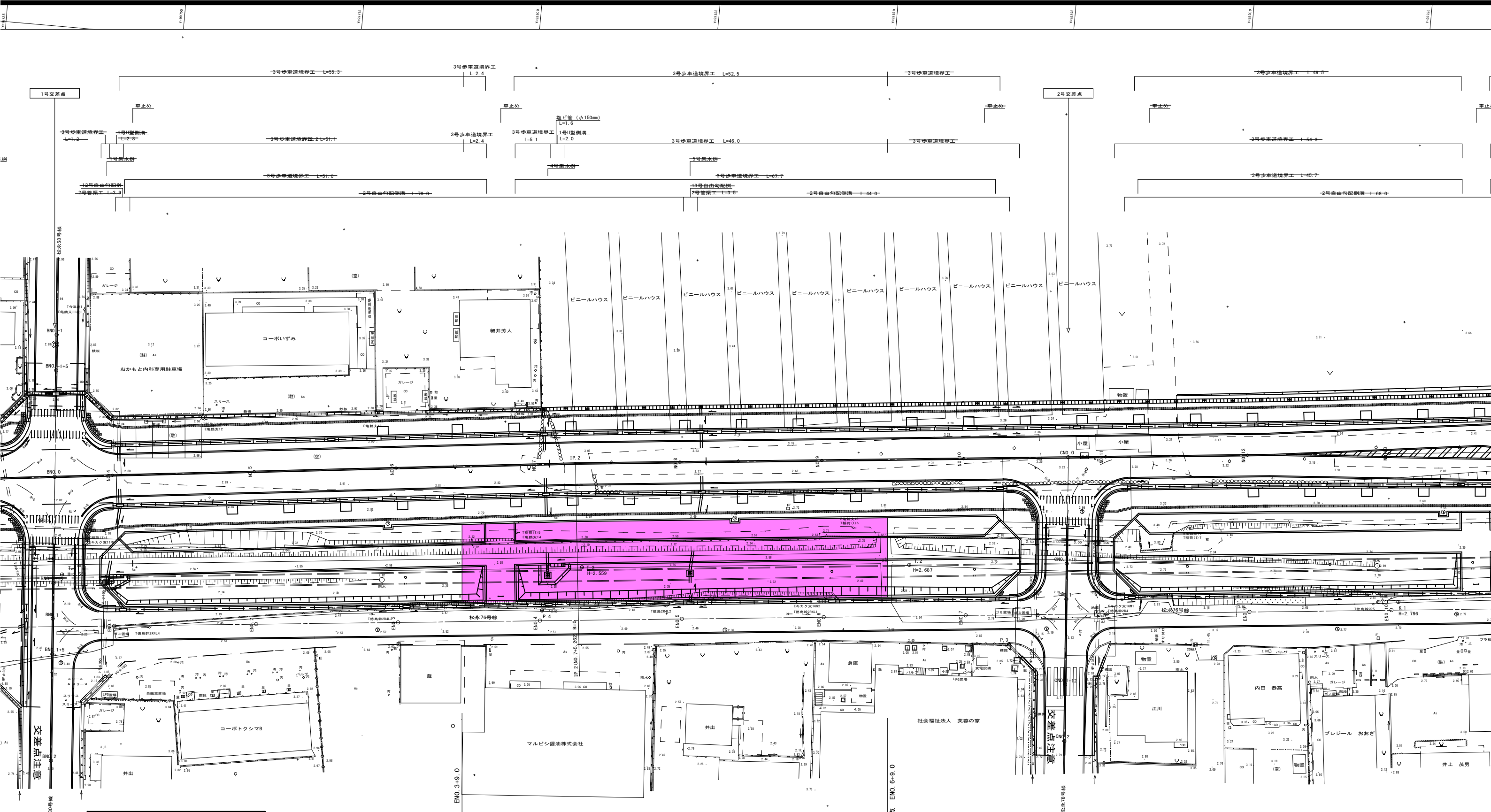
本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊ ＊ 工事原価 ＊ ＊					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額……… 率……………					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額……… 率……………					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
＊ ＊ 工事価格 ＊ ＊					
＊ ＊ 消費税相当額 ＊ ＊ 計算情報…… 対象額……… 率……………					
＊ ＊ 工事費計 ＊ ＊					
＊ ＊ 契約保証費計 ＊ ＊					

図面番号	1 / 8	縮 尺	S=1:10,000
工 種	道路改良工事		
種 別	位置図	番号	
路 線 名	南松永松永幹線・6-1		
工事箇所	福山市松永町六丁目地内		
福 山 市			

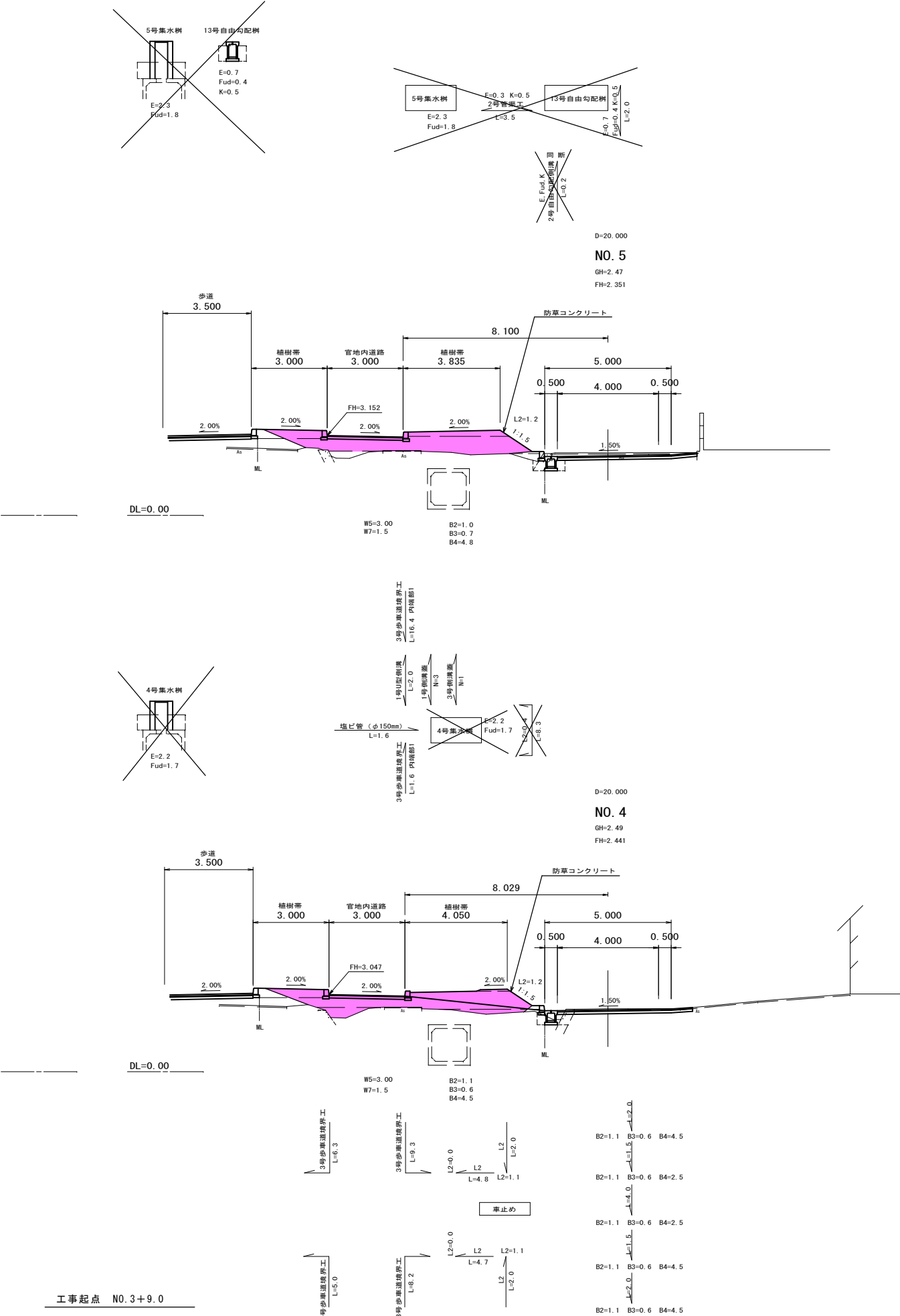
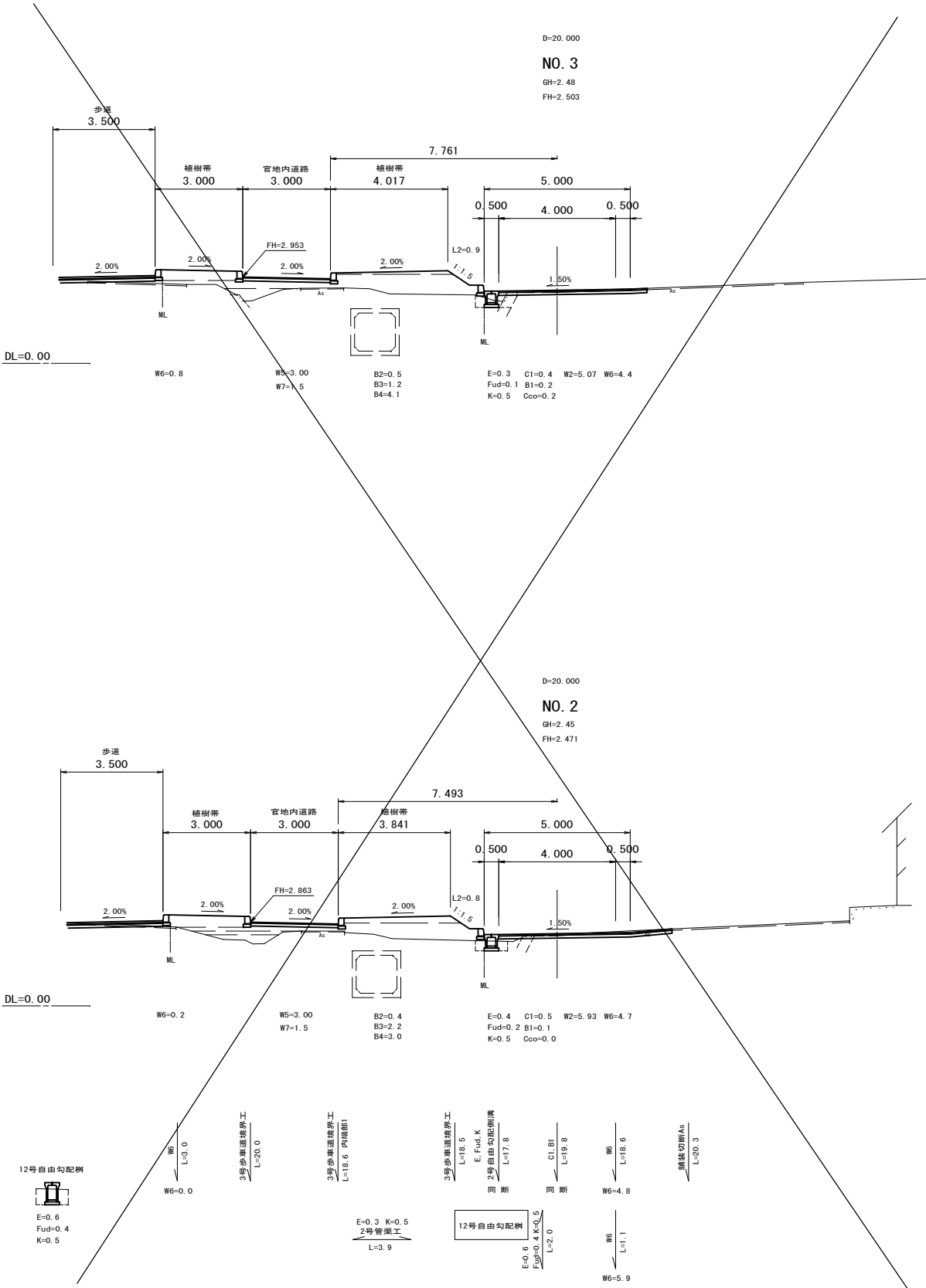




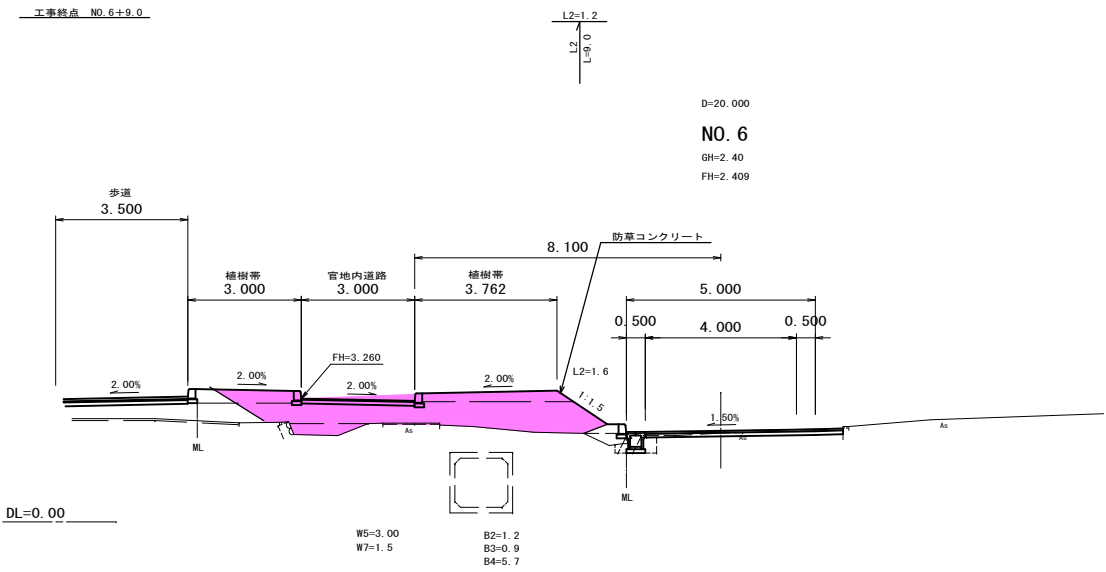
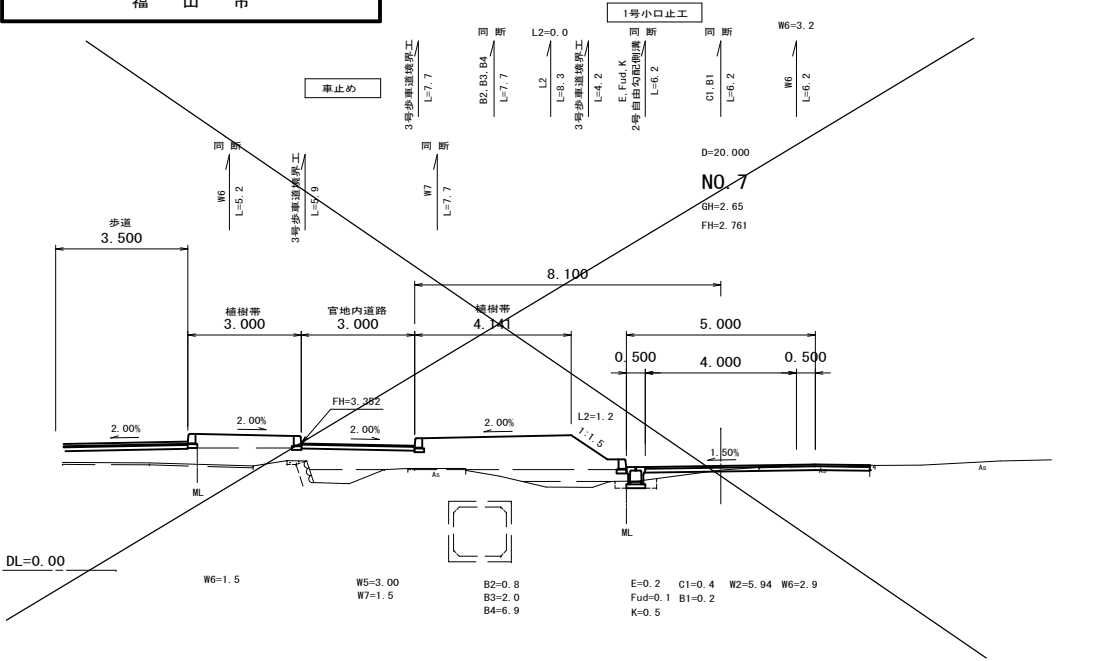
図面番号	2 / 8		縮 尺	S=1:250
工 種	道路改良工事			
種 別	平面図		番 号	1 / 1
路 線 名	南松永松永幹線・6-1			
工事箇所	福山市松永町六丁目地内			
設計年月	* 2025年（令和7年） 2月			
福 山 市				

工事延長 L=60.0m 道路幅員 W=3.0m
緑土工 L=125m As舗装工 A=213m²

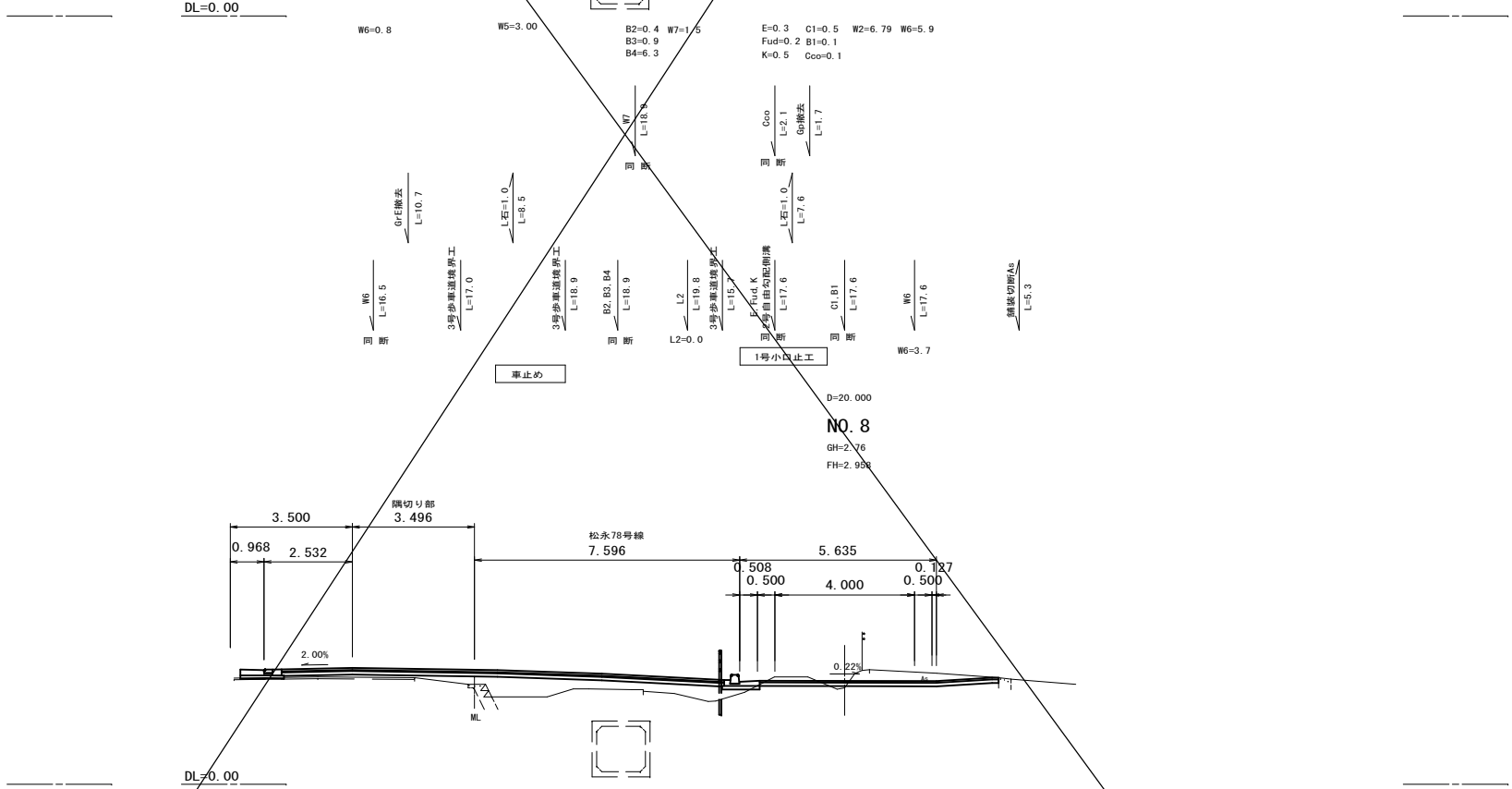
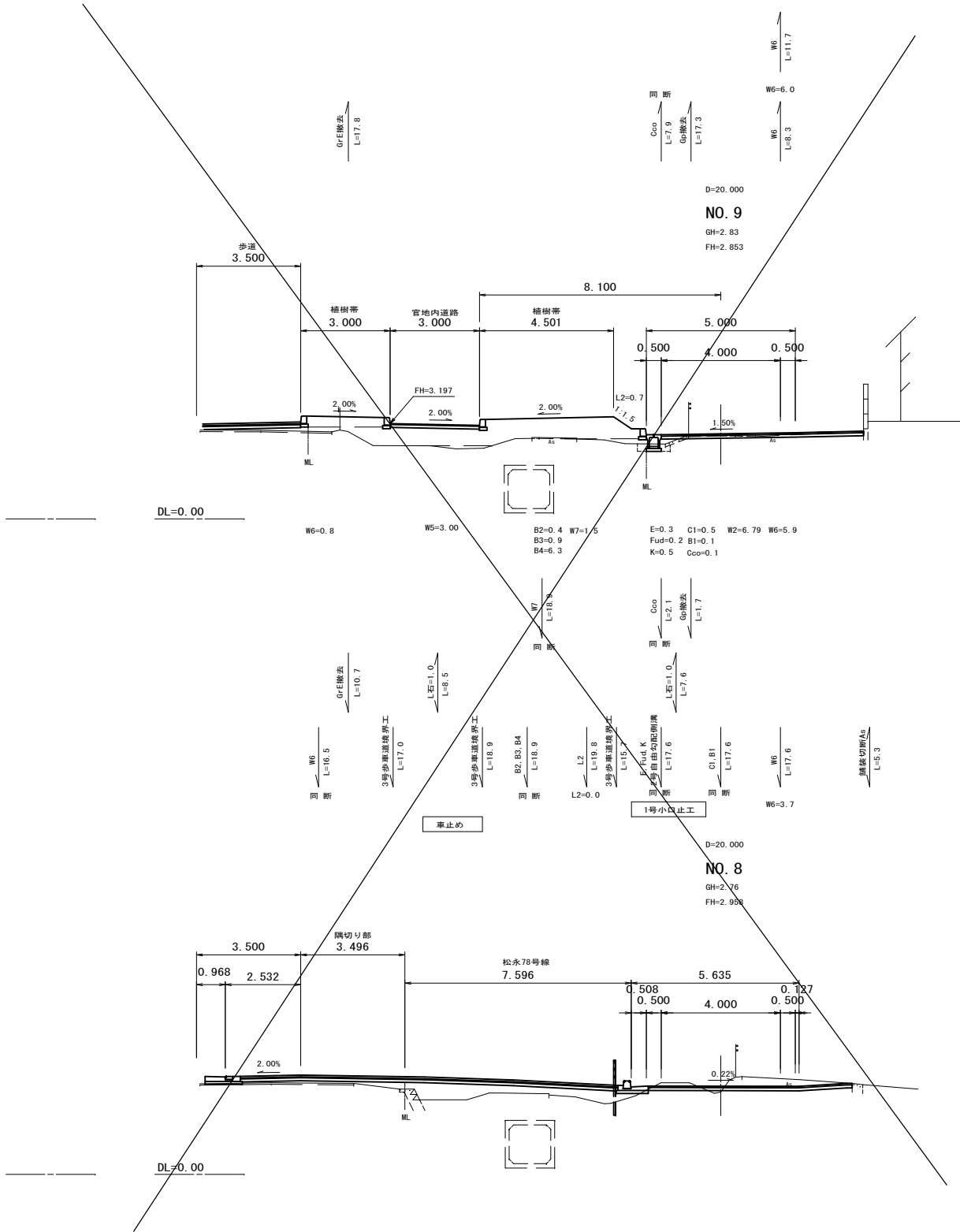
図面番号	4 8	縮 尺	1:100
工 種	道路改良工事		
種 別	横断面図	番 号	1 2
路 線 名	南松永松永幹線・6-1		
工事箇所	福山市松永町六丁目地内		
設計年月	2025年（令和7年）2月		
福 山 市			



図面番号	5	縮尺	1:100
	8		
工種	道路改良工事		
種別	横断面図	番号	2
		号	2
路線名	南松永松永幹線・6-1		
工事箇所	福山市松永町六丁目地内		
設計年月	2025年（令和7年）2月		
福山市			



E. F. u. d. K
同 2号自由勾配側溝
L=17.8

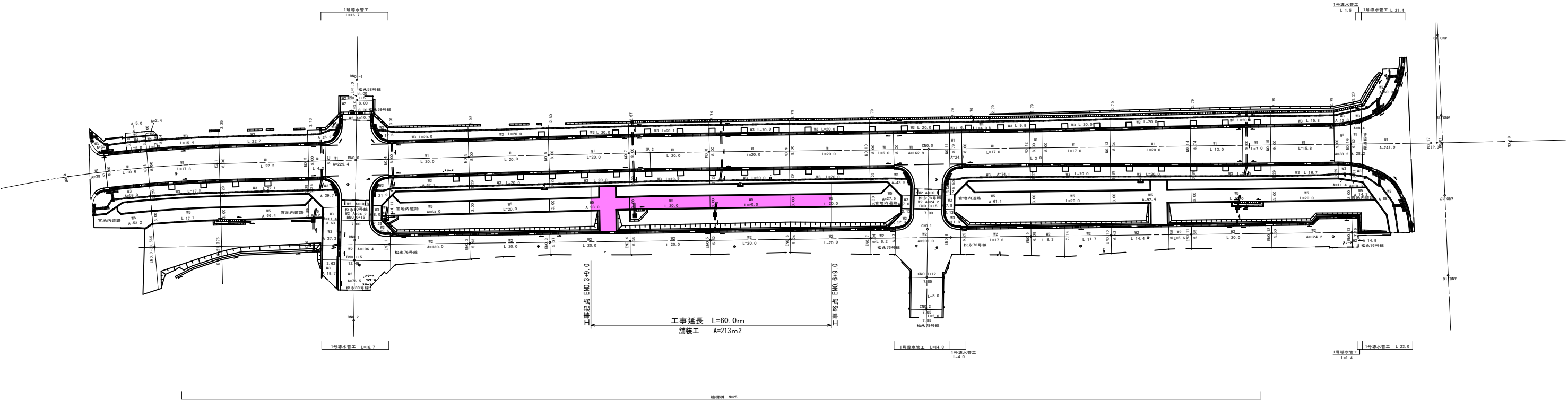


図面番号	6 / 8		縮 尺	S=1:500
工 種	道路改良工事			
種 別	舗装工展開図		番 号	1 / 1
路 線 名	南松永松永幹線・6-1			
工事箇所	福山市松永町六丁目地内			
設計年月	2025年（令和7年） 2月			
福 山 市				

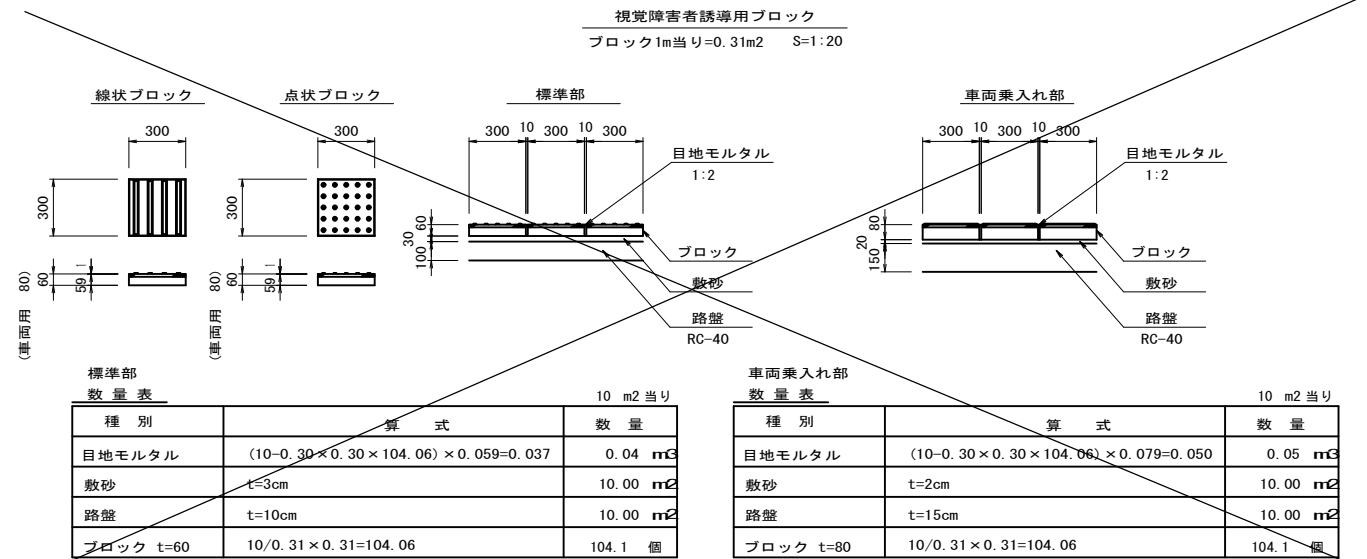
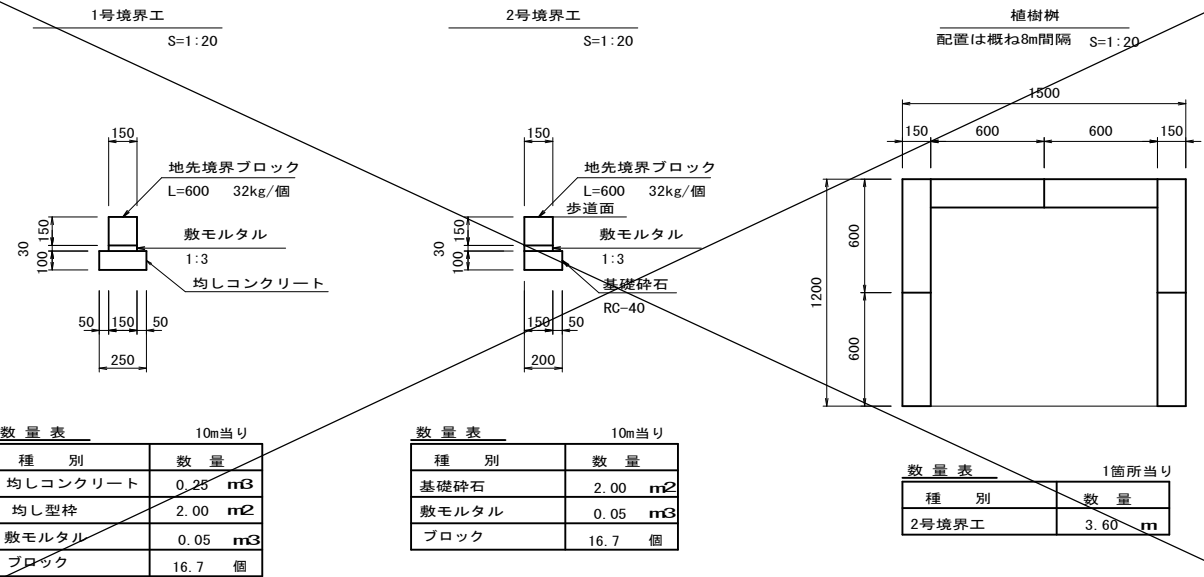
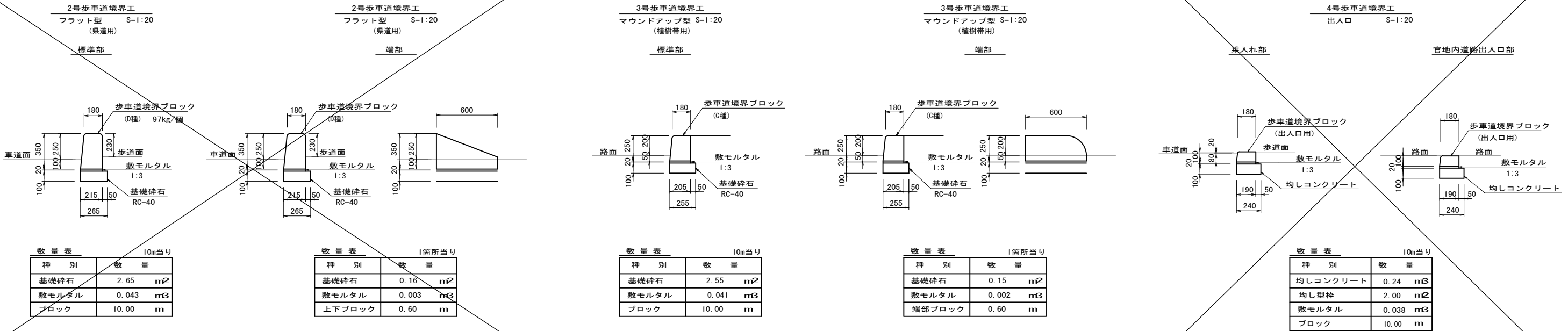
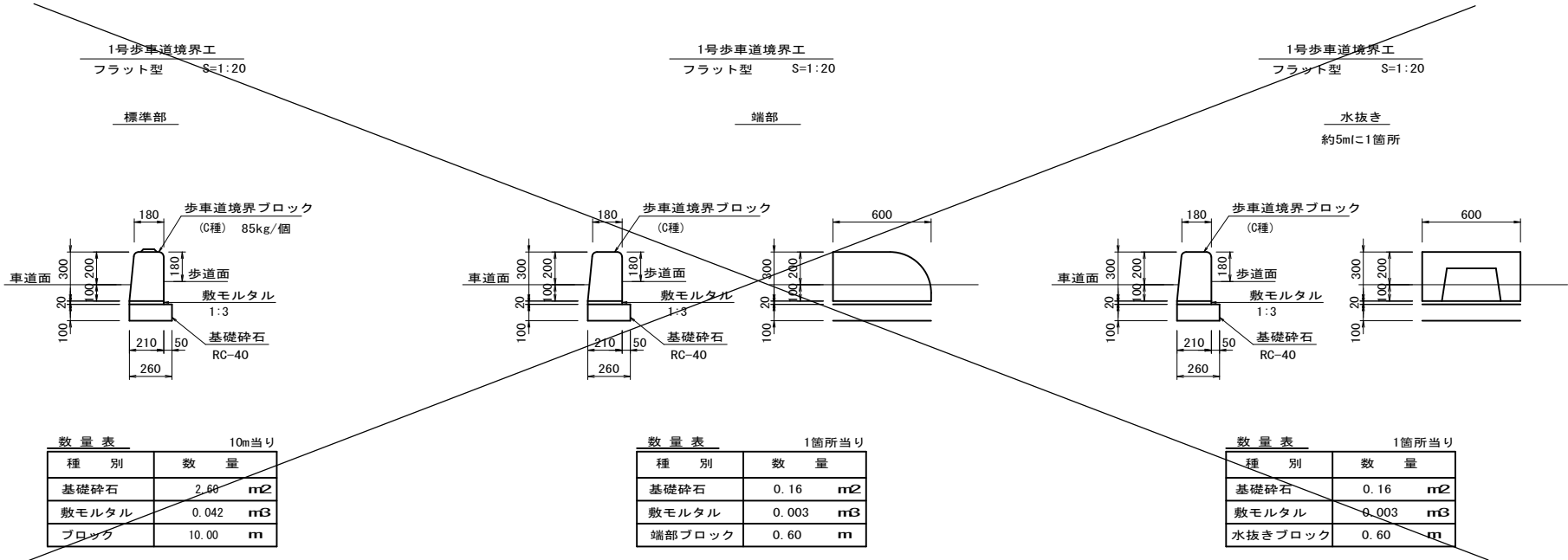


凡 例	
○ ○ ○	舗装幅 [m]
L	舗装中心距離 [m]
▲	異形部面積 CADによる求積 [m ²]
W1	車道舗装 排水性As 5・5・10・10 [cm]
W2	車道舗装 密粒度As 5・10 [cm]
W3	歩道舗装 In 区分1 6・3・10 [cm]
W4	歩道舗装 In 区分2 8・2・15 [cm]
W5	歩道舗装 細粒度As 3・10 [cm]

舗装面積控除	
縦割例	1.50×1.20=1.80 (m ² /1箇所当り)
誘導ブロック	0.31×1.00=0.31 (m ² /m当り)
基層面積控除	
1号導水管工	0.30×1.00=0.30 (m ² /m当り)

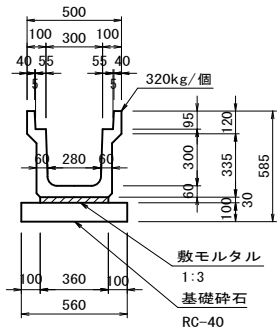


図面番号	7 / 8		縮 尺	図 示
工 種	道路改良工事			
種 別	構 造 図		番 号	1 / 10
路 線 名	南松永松永幹線・6-1			
工事箇所	福山市松永町六丁目地内			
設計年月	2025年（令和7年）2月			
福 山 市				



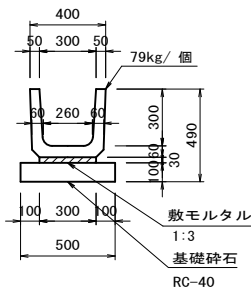
図面番号	8	縮 尺	図 示
工 種	道路改良工事		
種 別	構 造 図	番 号	2 10
路 線 名	南松永松永幹線・6-1		
工事箇所	福山市松永町六丁目地内		
設計年月	2025年（令和7年）2月		
福 山 市			

1号U型側溝
PU2-B300-H300 S=1:20



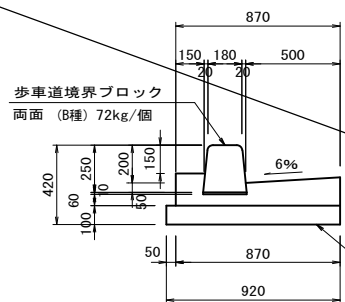
数量表	10m当り
種別	数量
基礎碎石	5.60 m ²
敷モルタル	0.11 m ³
側溝	5.0 個

2号U型側溝
PU1-B300-H300 S=1:20



数量表	10m当り
種別	数量
均しコンクリート	0.50 m ³
均し型枠	2.00 m ²
敷モルタル	0.09 m ³
側溝	16.5 個

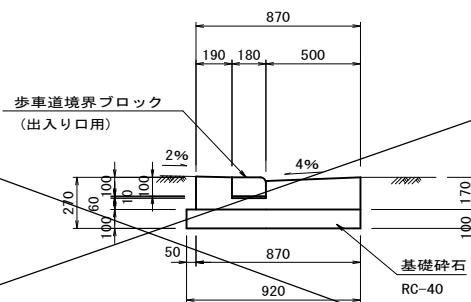
1-1号・1-2号L型側溝
S=1:20
PL2-B500-H200-T150



数量表	10m当り
種 別	数 量
コンクリート	1.06 m ³
型枠	3.20 m ²
敷モルタル	0.02 m ³
基礎碎石	9.20 m ²
ブロック	10.00 m

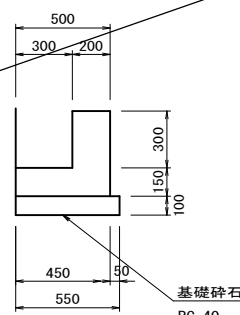
数量表	1箇所当り
種 別	数 量
コンクリート	0.06 m ³
型枠	0.19 m ²
敷モルタル	0.001 m ³
基礎碎石	0.55 m ²
端部ブロック	0.60 m

1-3号L型側溝
S=1:20
PL2-B500-H20-T170



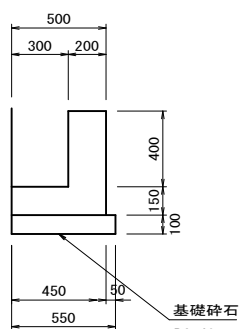
数量表	10m当り
種 別	数 量
コンクリート	1.24 m ³
型枠	3.44 m ²
敷モルタル	0.02 m ³
基礎碎石	9.20 m ²
ブロック	10.00 m

2号L型側溝
L1-B300-H300 S=1:20



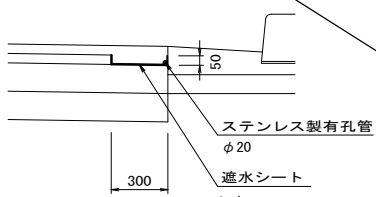
数量表	10m当り
種 別	数 量
コンクリート	1.35 m ³
型枠	9.00 m ²
基礎碎石	5.50 m ²

3号L型側溝
L1-B300-H400 S=1:20



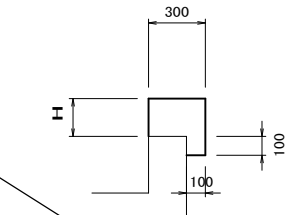
数量表	10m当り
種 別	数 量
コンクリート	1.55 m ³
型枠	11.00 m ²
基礎碎石	5.50 m ²

1号導水管工
S=1:20



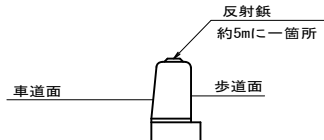
数量表	10m当り
種別	数量
排水性アスファルト t=5cm	3.00 m ²
遮水シート t=1mm	4.00 m ²
ステンレス製有孔管 φ20	10.00 m

1号嵩上げ工
S=1:20

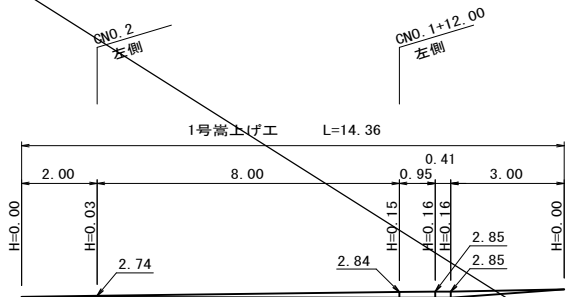
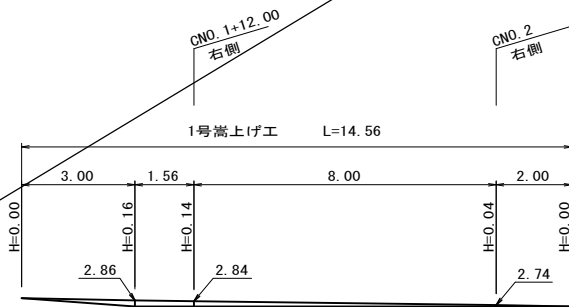


コンクリート	$H \times 0.30 + 0.01$	(m ³)
型枠	$H \times 2 \times 0.10$	(m ²)

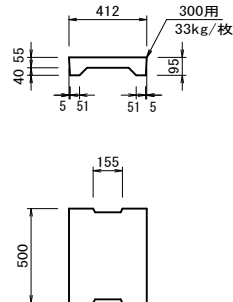
視線誘導標
S=1:20



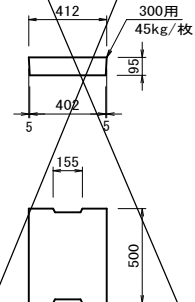
1号嵩上げ工
展開図
S=1:100



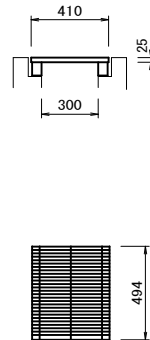
1号側溝蓋
PC3-B300
33kg/枚
S=1:20



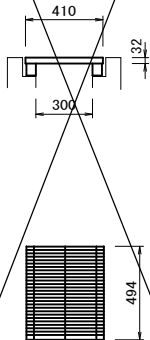
2号側溝蓋
PC4-B300
45kg/枚
S=1:20



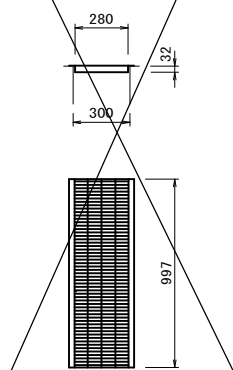
3号側溝蓋
グレーチング蓋
かさあげ ザラザラ 細目
T-2 300用 15.4kg/枚
S=1:20



4号側溝蓋
グレーチング蓋
かさあげ ザラザラ 細目
T-14 300用 17.8kg/枚
S=1:20



5号側溝蓋
グレーチング蓋
U字溝用 ザラザラ 細目
T-14 300用 23.3kg/枚
S=1:20



以下参考図書

施工単価表

路体(築堤)盛土
施工幅員2.5m未満
機械構成比:

SPK24040004

単第0 -0001 表

1
標準単価: m3 当り
6,330.20000

0.70% 労務構成比: 99.06% 材料構成比: 0.24% 市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.8～1.1t	0.70%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.8～1.1t		KTPC00008 KTPT00008
普通作業員	90.63%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	8.43%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油	0.24%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 施工幅員2.5m未満					

施工単価表

路体(築堤)盛土
施工幅員2.5m以上4.0m未満
機械構成比: 15.86%

SPK24040004

単第0 -0002 表

1
標準単価: m3 当り
827.03000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックハウ(クローラ型) 山積0.28m3(平積0.2) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	8.30%		バックハウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00054 KTPT00054
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	7.56%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
運転手(特殊)	66.88%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	8.66%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.60%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 施工幅員2.5m以上4.0m未満					

施工単価表

頁0 -0012

路体(築堤)盛土
施工幅員4.0m以上
機械構成比: 17.97%

SPK24040004
施工数量20,000m3未満 障害無し
労務構成比: 66.93%

単第0 -0003 表
市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価: 231.60000

m3 当り
231.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>ブルドーザ 湿地, 7t級 排出ガス対策型(第1, 2次基準値)低騒音	11.28%		<賃>ブルドーザ 湿地, 7t級 排出ガス対策型(第1, 2次基準値)低騒音		KTPC00036 KTPT00036
<賃>振動ローラ(土木用フラットSドラム型) 質量11~12t 排出ガス対策型(第1, 2, 3次基準値)低騒音	6.69%		振動ローラ(土工用) [フラット・シングルドラム型] 質量11~12t		KTPC00058 KTPT00058
運転手(特殊)	46.30%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	20.63%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	15.10%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 C=1 施工幅員4.0m以上 障害無し			B=1 施工数量20,000m3未満		

施工単価表

頁0 -0013

法面整形

盛土部 法面締固め有り 現場制約無し

機械構成比：12.19%

SPK24040025

レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土

労務構成比：75.67%

材料構成比：12.14%

市場単価構成比：0.00%

単第0 -0004 表

1

標準単価：697.02000

m2

当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
＜賃＞バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3, 2011, 2014	12.19%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	30.88%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	28.21%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	16.58%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油	12.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 盛土部 C=2 現場制約無し E=1 -(全ての費用)			B=1 法面締固め有り D=2 レキ質土, 砂及び砂質土, 粘性土		

施工単価表

頁0 -0014

コンクリート打設工		S1040011		単第0 -0005 表	
防草コンクリート Co厚さ70mm		18-8-20BB		100	m2 当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.600	人			
特殊作業員	1.100	人			
普通作業員	1.900	人			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18, スランプ8, 粗骨材20(25) W/C(60%), 種別(高炉)	8.470	m3			
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付1.7t吊_山積0.28m3	0.890	日			単第0-0006 表
諸雑費	4.0	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=2 施工幅 1.0m超2.0m以下 C=1 - F=70 コンクリート厚さ(mm)			B=2 施工高さ -1.0m以上1.0m以下 D=1 18-8-20BB G=1 -		

施工単価表

頁0 -0015

機-28_バックホウ運転(賃料)

S9035

单第0 -0006 表

1 目 当 り

クレーン付1.7t吊 山積0.28m3

[illegible]

施工単価表

舗装版破碎
アスファルト舗装版
機械構成比：13.49%

SPK24040305
障害等無し 舗装版厚15cm以下
労務構成比：80.49%

材料構成比：6.02%

市場単価構成比：0.00%

単第0 -0007 表

標準単価：1
207.06000
m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックハウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	13.49%		バックハウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	28.91%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	27.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	23.89%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	6.02%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=1 F=1 アスファルト舗装版 騒音振動対策不要 積込作業有り			B=1 D=1 G=1 障害等無し 舗装版厚15cm以下 -(全ての費用)		

施工単価表

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比：44.95%

SPK24040151
DID区間有り 運搬距離10.5km以下(6.0km超)
労務構成比：38.97%

単第0 -0008 表
市場単価構成比：0.00%

1
標準単価：3,512.00000

m3 当り
3,512.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.95%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	38.97%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	16.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=3 機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下) D=42 運搬距離10.5km以下(6.0km超)		

施工単価表

頁0 -0018

上層路盤(歩道部)

全仕上り厚100mm 1層施工

機械構成比: 5.20%

労務構成比: 67.43%

材料構成比: 27.37%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 848.39000

SPK24040235

単第0 -0009 表

RM-30

1

m2

当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	2.69%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.36%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	28.22%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	24.35%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	12.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャラン 30～0mm	25.44%		再生粒度調整碎石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPC00010 TTPT00360
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.88%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

上層路盤(歩道部)

全仕上り厚100mm 1層施工

機械構成比: 5.20%

SPK24040235

RM-30

労務構成比: 67.43%

材料構成比: 27.37%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0009 表

1

標準単価:

m2

848.39000

当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 D=1 全仕上り厚(mm) -(全ての費用)			B=1 RM-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0020

表層(歩道部)
平均幅員1.4m以上
機械構成比: 2.34%

SPK24040244
1層当り平均仕上厚30mm
労務構成比: 20.36%

材料構成比: 77.30%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0010 表

1
標準単価:

m2 当り
1,657.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
アスファルトフィニッシャ クローラ型 舗装幅1.4～3.0m	1.76%		アスファルトフィニッシャ クローラ型 舗装幅1.4～3.0m		MTPC00052 MTPT00052
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.33%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	7.67%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	5.13%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	3.54%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	1.84%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生細粒度(13)	69.11%		細粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPC00025 TTPT00294

施工単価表

表層(歩道部)
平均幅員1.4m以上
機械構成比: 2.34% 労務構成比: 20.36% 材料構成比: 77.30% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040244
1層当り平均仕上厚30mm

単第0 -0010 表
1
標準単価: 1,657.60000
m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.82%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油	0.33%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=3 平均幅員1.4m以上 C=10 再生細粒度アスファルト混合物(13) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=30 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0022

U型側溝

SDT00013

單第0 -0011 表

落ちふた式U形側溝(JIS_A_5372)3種

300A[300×300×2000]

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

蓋版		SDT00017		単第0 -0012 表		1		枚		当り	
落ちふた式U形側溝(JIS A 5372)3種ふた		300[412×95×500]									
名称・規格など		数量	単位	単価	金額	備考					
昼間_蓋版【手間のみ】 コンクリート・鋼製_40を超え170kg/枚以下 時間的制約なし		1.000	枚								
落ちふた式U形側溝(JISA5372)3種ふた300 412*95*500 参考質量45kg		1.000	枚								
諸雑費		1	式								
*** 単位当たり ***		1	枚								
A=1 C=20 G=1	昼間施工 300[412×95×500] -			B=4 F=1	落ちふた式U形側溝(JIS_A_5372)3種ふた 時間的制約なし						

施工単価表

暗渠排水管
据付 直管 50～150mm
機械構成比：0.00%

SPK24040092
硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径150mm
労務構成比：43.69%

単第0 -0013 表
市場単価構成比：0.00%

1
標準単価：690.65000

m 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	31.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
薄肉管(VU)(JISK6741)PE 呼び径150(165×5.1)	56.31%		暗渠排水管 直管 呼び径75mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0404 TTPT00188
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=1 50～150mm G=1 -			B=1 直管 D=52 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径150mm I=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0025

歩車道境界ブロック

SPK24040287

単第0 -0014 表

B種(180/205×250×600) 片斜片面R

設置 RC-40

1

m 当り

機械構成比: 2.63%

労務構成比: 59.25%

材料構成比: 38.12%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

6,033.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回小型バックホウ(クローラ) 山積0.09m3(平積0.07)吊能力0.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	2.19%		小型バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・クレーン機能付] 山積0.09m3(平積0.07m3)吊能力0.9t		KTPC00053 KTPT00053
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1〜3,2011,2014	0.44%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
特殊作業員	21.92%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	21.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.89%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	1.19%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
歩車道境界(JISA5371)B 180/205×250×600 片斜片面R,参考質量68kg	36.09%		歩車道境界ブロック B種(180/205×250×600)		TTPC00102 TTPT00102
軽油 パトロール給油,2〜4KL積載車給油	1.07%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0026

歩車道境界ブロック

SPK24040287

單第0 -0014 表

B種(180/205×250×600) 片斜片面R

設置 RC-40

機械構成比： 2.63% 勞務構成比：

59. 25%

材料構成比: 38.12%

38. 12%

市場単価構成比: 0.00%

0.00%

標準単価：1

1

m 当り

6,033.90000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0027

歩車道境界ブロック

SPK24040287

単第0 -0015 表

1m 当り

端部B種 (H250用 L600) 片斜両面R

設置 RC-40

標準単価:

機械構成比: 2.63%

労務構成比: 59.25%

材料構成比: 38.12%

市場単価構成比: 0.00%

6,033.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回小型バックホウ(クローラ) 山積0.09m3(平積0.07)吊能力0.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	2.19%		小型バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・クレーン機能付] 山積0.09m3(平積0.07m3)吊能力0.9t		KTPC00053 KTPT00053
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1〜3,2011,2014	0.44%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
特殊作業員	21.92%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	21.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.89%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	1.19%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
歩車道境界(端部)B H250用,L600 片斜両面R,参考質量65kg	36.09%		歩車道境界ブロック B種(180/205×250×600)		TTPCH0041 TTPT00102
軽油 パトロール給油,2〜4KL積載車給油	1.07%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0028

歩車道境界ブロック

SPK24040287

单第0 -0015 表

端部B種(H250用 L600) 片斜両面R

設置 RC-40

機械構成比： 2.63% 勞務構成比：

59. 25%

材料構成比: 38.12%

38. 12%

市場単価構成比: 0.00%

0.00%

標準単価：
1

1

m 当り

6,033.90000

[illegible]

工 事 数 量 総 括 表

南松永松永幹線
官地内道路

レベル1 工事区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	算出数量	設計数量	摘 要
道路改良								
	道路土工							
		路体盛土工						
			路体盛土	W<2.5	m ³	66.6	70	計第 1-1 表
			路体盛土	2.5≤W<4.0	m ³	44.0	40	計第 1-1 表
			路体盛土	4.0≤W	m ³	290.2	290	計第 1-1 表
		購入土						
			購入土	ほぐし 改良土	m ³	533.1	530	計第 1-1 表
		法面整形工						
			法面整形（盛土部）	土砂	m ²	74.3	70	計第 2 表
			防草コンクリート		m ²	111.8	112	計第 2 表
	排水構造物工							
		U型側溝工						
			1号U型側溝		m	2.0	2.0	ENO.4+2.0付近
			1号側溝蓋		枚	3.0	3	ENO.4+2.0付近
			3号側溝蓋		枚	1.0	1	ENO.4+2.0付近
			塩ビ管（φ150mm）		m	1.6	1.6	ENO.4+2.0付近

レベル1 工事区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	算出数量	設計数量	摘 要
	舗装工							
		アスファルト舗装工						
			路盤	歩道 再生砕石 t=10cm	m ²	213.0	213	計第 5-2 表
			表層	歩道 再生細粒度As t=3cm	m ²	213.0	213	計第 5-2 表
	縁石工							
		縁石工						
			3号歩車道境界工	歩車道境界ブロック B種 標準	m	123.6	124	計第 6-2 表
			3号歩車道境界工	歩車道境界ブロック B種 端部	m	1.2	1	計第 6-2 表
	道路付属施設工							
		道路付属物工						
			車止め		箇所	1.0	1	計第 6-2 表
	構造物撤去工							
		構造物取壊し工						
			舗装版取壊し	アスファルト t=3cm	m ²	90	90	計第 7 表
		運搬処理工						
			アスファルト殻	As殻 3cm DT運搬	m ³	2.7	3	計第 7 表
			殻処理	As殻	t	6.3	6	計第 7 表

計第 1-1 表		官地内道路 路体盛土								計 算 書			
測 点	路体盛土 W<2.5				路体盛土2.5≤ W<4.0				路体盛土 4.0≤W				備 考
	距 離	B2	平 均	立 積	距 離	B3	平 均	立 積	距 離	B4	平 均	立 積	
		0.0				0.0				0.0			
	1.0	1.1	0.55	0.6	1.0	0.6	0.30	0.3	1.0	4.5	2.25	2.3	
NO. 3+9	2.0	1.1	1.10	2.2	2.0	0.6	0.60	1.2	2.0	4.5	4.50	9.0	
	1.5	1.1	1.10	1.7	1.5	0.6	0.60	0.9	1.5	2.5	3.50	5.3	
	4.0	1.1	1.10	4.4	4.0	0.6	0.60	2.4	4.0	2.5	2.50	10.0	
	1.5	1.1	1.10	1.7	1.5	0.6	0.60	0.9	1.5	4.5	3.50	5.3	
NO. 4	2.0	1.1	1.10	2.2	2.0	0.6	0.60	1.2	2.0	4.5	4.50	9.0	
NO. 5	20.0	1.0	1.05	21.0	20.0	0.7	0.65	13.0	20.0	4.8	4.65	93.0	
NO. 6	20.0	1.2	1.10	22.0	20.0	0.9	0.80	16.0	20.0	5.7	5.25	105.0	
NO. 6+9	9.0	1.2	1.20	10.8	9.0	0.9	0.90	8.1	9.0	5.7	5.70	51.3	
路体購入土	(66.6+44.0+290.2)×1.33=533.1												
合 計				66.6				44.0				290.2	

計第 2 表

官地内道路 盛土法面整形

計 算 書

測 点	盛土法面整形				防草コンクリート								備 考
	距 離	L2	平 均	平 積	距 離	L2+0.30+0.30	平 均	積	距 離		平 均	積	
NO. 3+9.0		1.1				1.7							
	2.0	1.1	1.10	2.2	2.0	1.7	1.70	3.4					
	4.7	0.0	0.55	2.6	4.7	0.6	1.15	5.4					
		0.0				0.6							
	4.8	1.1	0.55	2.6	4.8	1.7	1.15	5.5					
NO. 4	2.0	1.2	1.15	2.3	2.0	1.8	1.75	3.5					
NO. 5	20.0	1.2	1.20	24.0	20.0	1.8	1.80	36.0					
NO. 6	20.0	1.6	1.40	28.0	20.0	2.2	2.00	40.0					
NO. 6+9.0	9.0	1.2	1.40	12.6	9.0	1.8	2.00	18.0					
合 計				74.3				111.8					

計第 5-2 表

官地内道路 アスファルト舗装 歩道

計 算 書 (展開図より)

測 点	距 離	歩道									備 考
		W5	平 均	平 積		平 均	平 積		平 均	平 積	
NO. 11											
NO. 12											
NO. 13											
合 計				213.0							

計 第 6-2 表		官地内道路 構造物延長						計 算 書				
測 点	距 離	3号歩車道境界工				4号歩車道境界工		車止め	横断防止柵			
		延長	延長	延長	端部	延長	延長					
合 計		m 60.3	m 64.5	m	箇所 2.0	m 0.0	m 0.0	箇所 1.0	m 0.0			
		m 124.8			m 1.2							
標準部		m 123.6					m 0.0					

[illegible]